

沖教組

NEW OTU JOURNAL MONTHLY

OKINAWA TEACHERS UNION

2010年1月7日(木)  
第1094号

# 教育新聞

月刊 (毎月20日発行) 1955年6月15日第3種郵便物許可  
発行 沖縄県教職員組合OKINAWA TEACHERS UNION  
〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3-9-2教育会館2F)  
電話 (098) 867-0161 (代) / FAX (098) 863-2026  
発行責任者 山本隆司  
価格 1部20円(組合費の中に含まれる)

## みんなで力をあわせて

# 沖教組運動の推進を



沖縄県教職員組合  
中央執行委員長  
山本隆司

新年あけましておめでとうございます。  
昨年総選挙において民主党中心の政権交代を実現し、予算配分などで「コンクリートから人」との理念が示されました。沖縄県が期待した諸課題(基地問題など)には大きな課題が残りますが、教育・学校現場の諸要求が政治に反映されることが期待されます。  
日教組としても「教育を中心とした福祉型社会」の実現をスローガンに掲げ、政府・国会に積極的に政策提言を行っております。沖教組も具

議会・市町村議会・各行政等に対して、諸課題の要請・陳情・提言を同時に行なっています。  
北欧などの行なった教育改革の比較的成功的な事例を見ると、財源や権限の地方分権と徹底した現場主義があげられます。地方分権や教育委員会制度の見直しなども議論されていますが、子どもに一番近い学校や地域が現場要求を積極的に政策提言して実行する力が求められます。  
2012年に公務員制度改革が完結し、戦後の公務員労働組

合の在り方が大きく変わります。公務員にも基本的に労働三権が付与され、とくに団体交渉権における労働協約締結権が実現します。労働基準法適用下になり、構成労働者の過半数以上の組織化が絶対的な要因になります。かつて沖教組は、20年前8000人以上の組織人員で90%以上の組織化をしていました。現在は教職員の世代交代が急速に進行し、過半数が厳しい状況になっています。昨年来、「100%組合加入声かえ作戦」をおこない、09年度は例年の

倍近い数の新規加入を実現しています。  
今年は臨時教職員も含め、学校現場で働く全ての教職員の組合加入を目指しています。教職員の仲間がゆとりを持って人間らしく働き、民主的な学校教育を実現させるためには、労働組合である沖教組の強化拡大が不可欠になります。  
学校を取り巻く課題は山積みの状態ですが、みんなで力を合わせて沖教組運動を推進していくことを約束して、新年のあいさつにかえさせていただきます。

## 組合加入 一声作戦 実施中

**本部・支部のとりくんでいること**  
沖教組は今、組織拡大に向けて山本委員長を中心にとりくみを強化中です。  
いままで加入を薦める声をかけられたことがなかった、組合ってなんだかよくわからない、ということをよく耳にします。組合員であるけれど組合がよくわからない、何をしているかわかってこないという声も聞こえてきます。  
このような中で、沖教組専従役員は昨年の4月から精力的かつきめ細かく分会訪問を行ない、また支部ごとに学習会や県会議員・市議会議員学習懇談会を繰り返し、国会議員要請などをとりくんできました。その様子は、各分会へ発信している「ファックスニュース」や「沖教組ホームページ」「沖教組教育新聞」などで逐一お知らせしています。

**各学校分会でやってほしいこと**  
今回の給与改定で、私たちの給料の「実質的損失分を補うための署名」活動には多くの組合員のとりにくみの結果、4,300筆余の署名が寄せられました。こんどは、学校現場のはたらき方につながる問題点を「署名」という形で表しましょう。組合員の皆さん一人ひとりの署名をお願いします。もちろん、現場の多忙は、まだ組合に加入していない教職員にも同じように降りかかっています。  
「私は署名したから、あなたも……」とそっと呼びかけてください。現状を何とかさせたいという思いをみんなで形にしましょう。このことが組合加入の一步です。  
各学校の教職員のいろいろな問題について、直接関係しているのは、それぞれの市町村教育委員会です。労働安全衛生にか

んする整備や、勤務時間・休憩時間に関係することなど働き方に関係することも「服務監督権」のある市町村教育委員会なのです。皆さんの署名という「意思」を市町村教育委員会につけましょう。  
署名用紙は、1月中ごろに各分会に届ける予定です。  
**山形で全国教研**  
日教組第59次教育研究全国集

会が1月22日(金)から山形県内で開催されます。  
沖教組からは山本委員長を団長として、13分科会に14人の報告者、担当部長、司会者、オブザーバー参加など総勢26人で参加します。学習発表会などの練習日程が入っている中での全国教研ですが、参加者には全国の仲間との交流を深め、成果を沖縄の仲間にも還元してもらいたいと思います。

**給料の調整額改定を3月に押し戻す**  
給料の調整額の調整数を1月1日から0.5引き下げるという教育庁総務課の提案に対し、5回にわたる粘り強い交渉の結果、3月1日実施まで押し戻すことができました。12月1日から月例給と一時金の支給月数の減額、1月1日からの義務手当0.8%の減額のなかで、調整数改定を止められなかったとはいえ、1月1日実施を押し戻すことができたのは成果といえます。  
**〈給料の調整額とは?〉**  
市町村立学校関係では、特別支援教育に直接従事している教員、若狭分校・分教室に勤務する職員を対象に支給されている。給料の号給によって基本額が異なるが、概ね1万円。これに調整数をかけた額が支給される。今回の場合、概ね月5,000円の減額提案であった。

日本教職員組合  
中央執行委員長  
**中村 譲**  
書記局長一同



新年あけましておめでとうございます。

2009年は社会的価値観のパラダイム転換がおこなわれた一年でした。競争原理を至上とする新自由主義経済が政策の破綻のみならず、その価値観も批判されました。その結果が政権交代として実を結びました。

私たち日教組は喫緊の課題として、昨年は4月から「子ども救援カンパ」にとりくむとともに、教育の機会均等を保障するように政治に要求してきました。

また、日教組運動を次世代に継承するために、09年11月に「第

# 美り多き年に

1回青年教育実践交流会(略称TOMO—KEN)を青年部を中心に運営してきました。

2010年1月開催の第59次全国教研では、地域により一層「開かれた教研」をめざす新たな試みとして「夕べのつどい」を企画しています。

「平和・人権・環境・共生」、私たちの運動展開を阻む“壁”は低くなってきました。松本清張や山崎豊子の小説が大衆に受け入れられています。そんな世論も背景にあります。今こそ日教組運動を幅広く展開し、組織の拡大を図るチャンスが到来しています。全組合員が丸となって前進する、そんな1年にしましょう。

本年もよろしくお願いま

す。さあ、これから！  
2010年元旦

参議院議員

**那谷屋正義**



新年明けましておめでとうございます。

昨年、皆様のお力をいただき、歴史的な政権交代を実現することができました。今年が参議院選挙の年です。昨年の流行語大賞は「政権交代」でしたが、今年に交代を果たした政権をさらに強固なものとするために、私も2期目の当選に向け、全力

でとりくむ決意です。

私は教育現場出身議員として、「教室が原点」をモットーに、教育予算の拡充、教員免許更新制度の廃止、全国学力テストの悉皆調査の見直し等々の課題に、現場の皆さまの声を反映させながら改革を進めます。

また、子どもたちに平和な未来を保障するためにも、憲法改悪の動きについては、毅然たる態度ではねのけていく決意です。

今年が寅年です。「虎は千里を走る」と言われています。私も国民の暮らしを守り、平和で安心できる、また子どもたちが夢を持てる社会の実現に向けて全力で走りとおします。

皆様のご支援をよろしくお願いいたします。  
(沖教組は、来年の参院選に**なたにや正義**さんを推せん決定しています。)

育児休業中の教職員を対象にした「カムバック・セミナー」(09年度1回目)が那覇市安里のホテルロイヤルオリオンで去る16日(水)に開催されました。今年で5年目になるセミナーで、子育て真っ最中の女性教職員に呼びかけて、情報交換とお母さんとしての交流の場としています。今年は32名の参加がありました。

会場には託児室を設け、コーヒー・ケーキで一息入れながら、充実した時間を持つことができました。セミナーでは公務員制度改革が進行している中で、公務労働者の危機に触れ、だからこそ仲間との団結が必要だと山本委員長が訴えました。学校現場ではなかなか時間が取れず、組合の話も今回じっくり聞くことができなかったが、セミナーで権利のこと、賃金のこと、公務員制度改革(労働協約締結権)、必要な事務手続き、教員免許更

## 充実し、成功した5年目の カムバックセミナー



新制等多くの情報提供があり、勉強になったと喜ばれました。

2回目は、年明けて2月17日に恩納村のリザンシーパークホテルで開催予定です。申し込みを受付中です。

TEL098-867-0161まで「カムバックセミナーのことで」とお電話ください。

あなたの同僚の教職員へ「行ってみたら」と呼びかけてください。

### 参加者の

### 感想

ずっと家にいることが多かったので、この機会に外出できることが1番うれしかったです。

育児付きなので、思い切って参加できました。保育をしてくださる方がたくさんいて、とても安心しました。

自分たちの生活に直結する組合の活動について、しっかり聞いたように感じます。初任時にこのような機会があれば、もっと早い段階で加入していたかと思いました。

組合に対してのイメージが良くなりました。内容が恥ずかしながら分からなかったのですが、今まで加入の必要性を感じませんでした。この機会に加入します。

## 速報 取り戻せた!!

昨年12月25日、県議会の「附帯決議」にもとづいて09人事委員会勧告による実質的な損失分の補填を求める09確定交渉が県庁で行われました。

交渉に先立ち、皆さんにとり

くんでもらった「誠実な交渉を求める」署名約1万5千余筆を県知事に手渡し、私たちの意志を伝えました。署名は沖教組分で4,657筆になりました。

交渉では、当局は損失分一人

平均80,257円を4月に支給するという提案をしました。(今年3月退職者は、退職手当に上乘せ)これは、「附帯決議」の内容にほぼ相当するものです。皆さんの署名による強い意志が損失分を取り戻したことになります。なお、この件についてはFAXニュースでもお知らせしています。